

平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 フクシマフーズ株式会社

コード番号 2921 URL <http://www.fukushimafoods.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 井上 安雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 木村 哲夫

TEL 024-582-2260

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,484	△2.7	221	11.4	227	11.1	126	2.8
21年3月期第1四半期	3,582	—	198	—	204	—	122	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	39.10	—
21年3月期第1四半期	37.99	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
22年3月期第1四半期	7,981		6,179		77.4	1,914.90		
21年3月期	8,024		6,150		76.6	1,905.80		

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,179百万円 21年3月期 6,150百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

なお、当社は平成21年5月15日開催の取締役会において、東洋水産株式会社を完全親会社、当社を完全子会社とする本株式交換を行うことを決議し、株式交換契約を同日付で締結いたしました。当社の株式はジャスダック証券取引所の定める株券上場廃止基準に従い、上場廃止となる予定です。以上の状況を勘案し、平成22年3月期の配当予想は未定です。

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	7,430	4.1	490	31.3	500	29.6	290	26.5	89.86
累計期間	14,930	2.8	940	41.9	950	37.9	540	75.1	167.33
通期									

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	3,230,000株	21年3月期	3,230,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	2,797株	21年3月期	2,797株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	3,227,203株	21年3月期第1四半期	3,228,833株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月15日発表の業績予想を修正しておりません。上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報を参照してください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、前期に引き続いて設備投資が大幅に減少しており、また、個人消費についても厳しい雇用・所得環境の中で低迷し、景気回復にはまだ遠い状況にあります。

食品業界におきましても、消費の低迷を受け依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社は引き続き製造コストの削減、合理化・省力化に努めてまいりました。また、「我々は品質管理を徹底し、価値ある顧客満足度の高い製品作りを行います。また、我々は常に環境に配慮し、クリーンな生産活動を行います。」を基本方針に、品質管理の強化、地球環境問題への取り組みを積極的に行ってまいりました。

その結果、当第1四半期会計期間の売上高は前年同期比2.7%減少の3,484,929千円となりました。

利益面につきましては、原材料費の増加がありましたが、動力費や減価償却費の減少があったために、営業利益は前年同期比11.4%増加の221,427千円、経常利益は前年同期比11.1%増加の227,225千円、また、四半期純利益は前年同期比2.8%増加の126,167千円となりました。

部門別業績の概況は次のとおりであります。

[即席麺部門]

袋麺の受注が増加したものの、カップ麺の受注が減少したことにより、売上高は前年同期比0.1%減少の1,876,588千円となりました。

[米飯部門]

レトルト包装米飯の受注が減少したことにより、売上高は前年同期比8.0%減少の1,479,266千円となりました。

[その他]

OEMの流動食の受注が増加したことにより、売上高は前年同期比33.1%増加の129,075千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は7,981,368千円となり、前期末に比べ43,505千円の減少となりました。これは主に関係会社短期貸付金の増加があったものの、売掛金や減価償却費の計上による固定資産の減少があったことによるものであります。

負債につきましては、1,801,587千円となり前期末に比べ72,888千円の減少となりました。これは主に、買掛金が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、四半期純利益126,167千円を計上したことにより6,179,781千円となり、前期末に比べ29,382千円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）については、前期末残高101,764千円に比べて11,658千円増加し、当第1四半期会計期間末残高113,422千円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、383,409千円（前年同期比151.3%増加）の収入となりました。これは主に、仕入債務の減少があったものの、減価償却費や売上債権の減少によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、279,358千円（前年同期比258.1%増加）の支出となりました。これは主に、関係会社短期貸付金への支出があったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、92,392千円（前年同期比32.8%増加）の支出となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、原油が以前の水準に落ち着きつつある中、原料、資材につきましても同水準で移行すると思われます。しかしながら、個人消費は依然として低迷すると思われます。

以上により、平成22年3月期の業績予想といたしましては、売上高は14,930百万円、営業利益は940百万円、経常利益は950百万円、当期純利益は540百万円を予想しております。

なお、当社は、平成21年5月15日開催の当社取締役会において、平成21年10月1日付で当社を完全子会社とし東洋水産株式会社を完全親会社とする株式交換を行うことを決議し、東洋水産株式会社との間で株式交換契約を締結いたしました。平成21年6月23日開催の当社第53期定時株主総会において当該株式交換契約承認の件は承認され、当社株式は同年9月25日付で上場廃止となる予定であります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,422	101,764
売掛金	1,126,235	1,371,696
商品及び製品	66,714	58,939
仕掛品	8,349	13,730
原材料及び貯蔵品	144,226	153,603
関係会社短期貸付金	1,852,062	1,574,972
その他	35,292	51,512
流動資産合計	3,346,304	3,326,220
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,520,614	1,537,431
機械及び装置（純額）	2,199,451	2,255,399
その他（純額）	644,035	639,816
有形固定資産合計	4,364,101	4,432,647
無形固定資産	873	873
投資その他の資産	270,089	265,132
固定資産合計	4,635,064	4,698,654
資産合計	7,981,368	8,024,874
負債の部		
流動負債		
買掛金	808,054	966,047
未払法人税等	65,377	47,002
役員賞与引当金	660	14,110
その他	367,453	295,909
流動負債合計	1,241,544	1,323,069
固定負債		
退職給付引当金	548,614	540,339
役員退職慰労引当金	6,240	5,590
その他	5,188	5,476
固定負債合計	560,042	551,406
負債合計	1,801,587	1,874,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,700	222,700
資本剰余金	213,620	213,620
利益剰余金	5,746,453	5,717,102
自己株式	△3,454	△3,454
株主資本合計	6,179,318	6,149,967
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	462	431
評価・換算差額等合計	462	431
純資産合計	6,179,781	6,150,398
負債純資産合計	7,981,368	8,024,874

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	3,582,532	3,484,929
売上原価	3,305,737	3,190,933
売上総利益	276,795	293,995
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	16,995	16,540
役員賞与引当金繰入額	1,650	660
退職給付費用	2,571	2,721
役員退職慰労引当金繰入額	1,150	650
その他	55,746	51,997
販売費及び一般管理費合計	78,112	72,568
営業利益	198,683	221,427
営業外収益		
受取利息	2,956	3,482
受取配当金	668	8
雑収入	2,250	2,307
営業外収益合計	5,875	5,798
経常利益	204,558	227,225
特別損失		
固定資産除却損	1,862	16,265
特別損失合計	1,862	16,265
税引前四半期純利益	202,696	210,959
法人税、住民税及び事業税	51,456	63,134
法人税等調整額	28,566	21,657
法人税等合計	80,022	84,792
四半期純利益	122,673	126,167

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	202,696	210,959
減価償却費	190,839	159,488
受取利息及び受取配当金	△3,624	△3,491
固定資産除却損	1,862	16,265
売上債権の増減額 (△は増加)	230,523	245,460
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,558	6,983
仕入債務の増減額 (△は減少)	△68,138	△157,993
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,780	8,274
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,100	650
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△115,599	18,438
その他の資産の増減額 (△は増加)	△10,306	△11,513
その他の負債の増減額 (△は減少)	△22,292	△69,845
小計	416,199	423,676
利息及び配当金の受取額	3,624	3,491
法人税等の支払額	△267,235	△43,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,587	383,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,183	△2,418
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△37,822	△276,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,006	△279,358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△288
自己株式の取得による支出	△760	—
配当金の支払額	△68,820	△92,104
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,580	△92,392
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,000	11,658
現金及び現金同等物の期首残高	103,334	101,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	108,335	113,422

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期会計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
即席麺	1,876,032	0.0
米飯	1,480,862	△7.2
その他	134,037	40.7
合計	3,490,933	△2.1

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期会計期間における受注状況を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	受注高		受注残高	
	金額 (千円)	前年同期比 (%)	金額 (千円)	前年同期比 (%)
即席麺	1,798,466	△1.4	154,884	76.2
米飯	1,404,724	△12.1	132,073	16.4
その他	128,912	18.7	49,097	7.1
合計	3,332,103	△5.6	336,055	35.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期会計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
即席麺	1,876,588	△0.1
米飯	1,479,266	△8.0
その他	129,075	33.1
合計	3,484,929	△2.7

(注) 1 前第1四半期会計期間及び当第1四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第1四半期会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)		当第1四半期会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
東洋水産株式会社	3,480,951	97.2	3,354,234	96.3

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。